

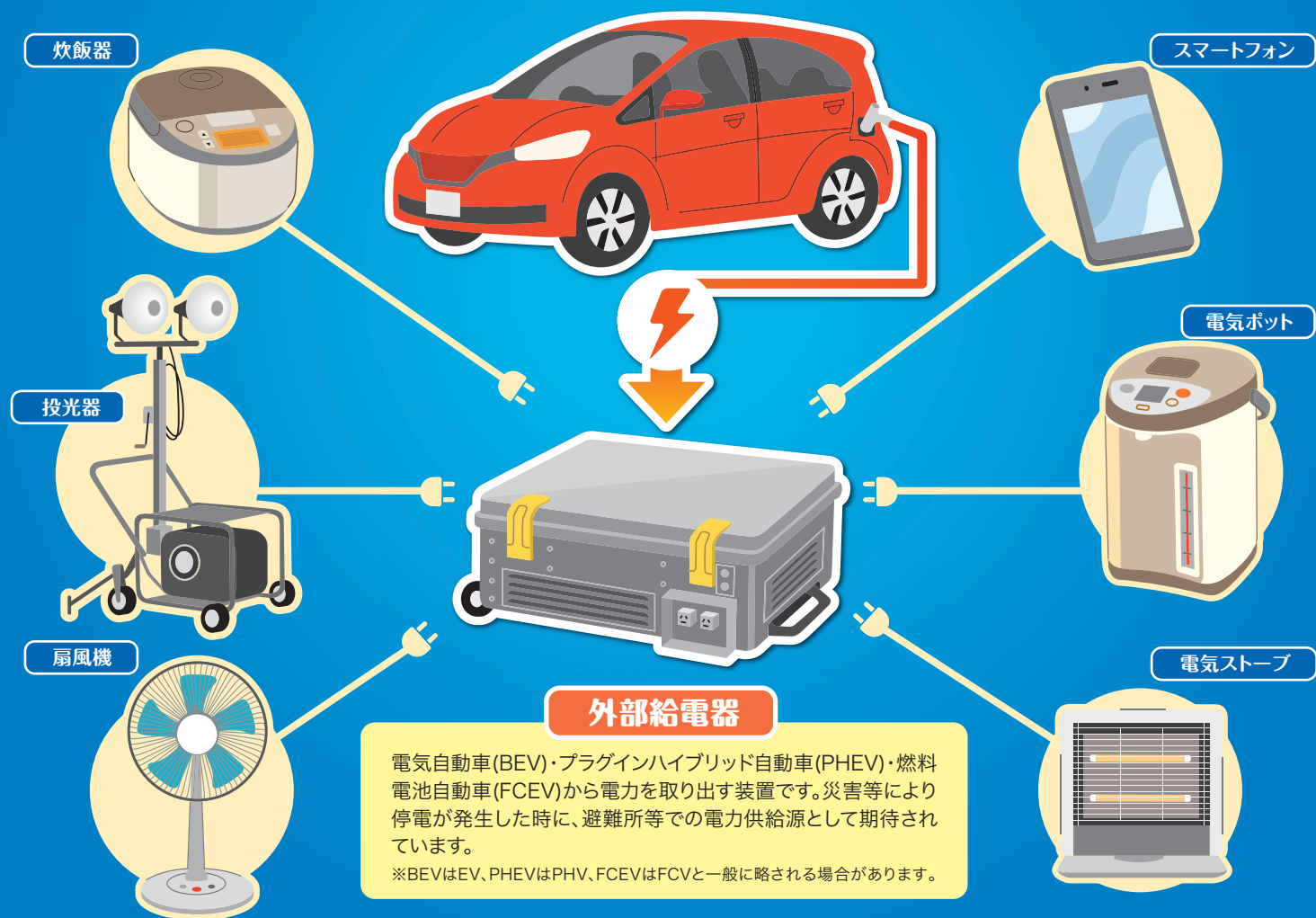


電気自動車等から電力を取り出すことができる

外部給電器に、 国からの補助金が出ます!

補助金の目的

クリーンエネルギー自動車の駆動用蓄電池又は燃料電池を活用し、エネルギー供給源を分散化することで、災害による大規模停電のリスクを最小化し、災害対応力を向上させることを目的としています。(補助金申請については裏面をご確認ください)



※一般社団法人次世代自動車振興センター(以下「センター」という)が当補助事業を実施しています。

V2LとV2Hの違い

一般的に、可搬型の外部給電器を利用し車から家電機器に電力を供給する形態は V2L(バイ・ツー・エル)、また充・放電可能な機器を設置し車から施設等に電力を供給する形態は V2H(バイ・ツー・エイチ)と呼ばれています。

V2L (Vehicle to Load)

車から家電機器等に電力を供給

※ 外部給電器※が必要 ※



停電時の避難所での電力供給源等で利用

※車によっては、100Vコンセントを装備している場合があります。
その場合、外部給電器なしでの電力供給が可能です。

V2H (Vehicle to Home)

車から施設等に電力を供給

※ V2H充放電設備を設置 ※



停電時の施設等への電力供給や
平常時の施設等での電力有効活用で利用

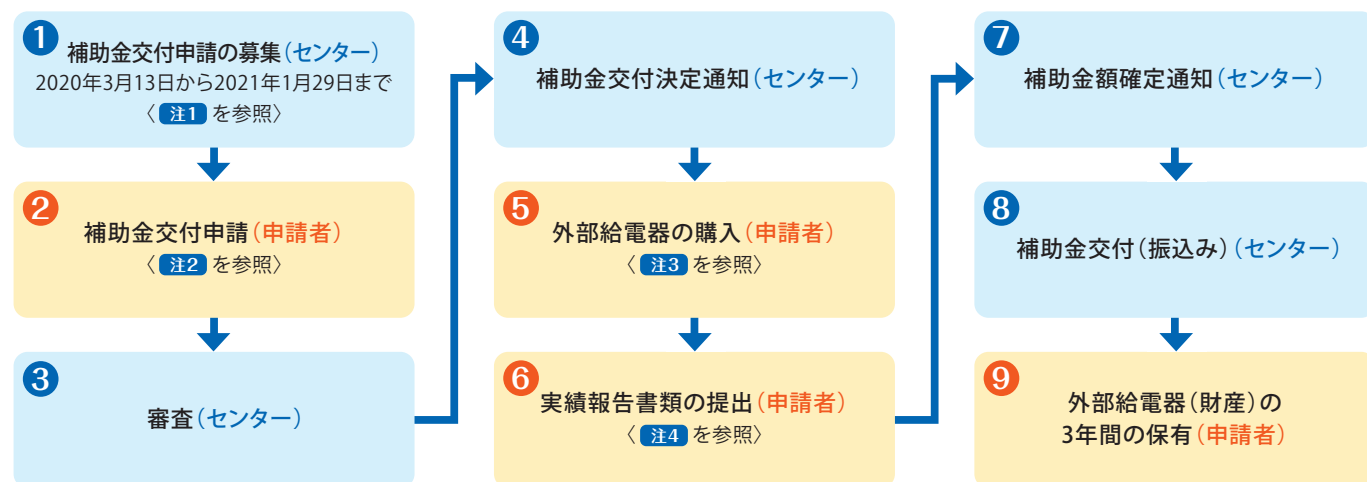
「外部給電器」補助金申請の概要と注意点



補助金申請から交付まで

大まかな流れと主な注意事項を記載します。
詳細はセンターWebサイトをご覧ください。

補助金を受けるには外部給電器の購入(納品)の前に補助金交付申請が必要です



注1 予算不足の恐れが発生した場合は受付期間を短縮することがあります。

注2 申請者は、地方公共団体・その他の法人(リース会社含む)等が対象です。個人は対象外となります。リース会社が申請する場合でも、借入者が個人の場合対象外です。

注3 外部給電器の購入(納品)は補助金交付決定通知書発行日以後であることが必要です。

注4 実績報告書は、購入費全額の支払い完了の日から起算して30日以内(消印有効)、または2021年3月1日(必着)のいずれか早い日までに、センターに提出が必要です。

※その他詳細については、センターWebサイトに公開している「応募要領」をご覧ください。



補助対象外部給電器 (2020年4月27日現在)

補助金額は、センター承認本体価格の1/3(千円単位)で、上限額が500千円となります。

メーカー名	豊田自動織機	ニチコン	本田技研工業	三菱自動車
型式	EVPS-L1	VPS-4C1A	EBHJ	MZ604775
写真				
定格容量	9000VA	4500W	9000VA	1500W
コンセント数	AC 100V×6	AC 100V×3	AC 100V×6、200V×1	AC 100V×1
センター承認本体価格 メーカー希望小売価格(税抜)	1,500,000円	650,000円	1,092,500円	142,667円
補助金額	500,000円	216,000円	364,000円	47,000円



外部給電器が利用可能な車の例

外部給電器の機種により対応可能な車が限られる場合があります。
詳しくは外部給電器メーカーのWebサイト等をご確認ください。

電気自動車



プラグインハイブリッド自動車



燃料電池自動車



詳しくは

一般社団法人 次世代自動車振興センター 次世代自動車部



<http://www.cev-pc.or.jp>

〒103-0027
東京都中央区日本橋一丁目16番3号 日本橋木村ビル

TEL 03-3548-3231
FAX 03-3548-3232

TEL受付時間
9:00~12:00 / 13:00~17:00
(土日・祝祭日・年末年始を除く)



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

2020年7月発行